

記者発表
令和5年4月20日
仙台国際ハーフマラソン大会実行委員会
(公財)仙台市スポーツ振興事業団
〔担当〕須田・上田
☎ 022-297-1322

2023 仙台国際ハーフマラソン 6.4 SENDAI INTERNATIONAL HALF MARATHON

令和5年(2023年)6月4日(日)

『仙台国際ハーフマラソン 2023』が開催されます

8000名出場のエリート・一般の部は、10時05分にスタート！！

令和5年(2023年)6月4日(日)に開催する『仙台国際ハーフマラソン2023』の概要および
主な出場選手等について、お知らせいたします。

記

- 添付書類
- 1) 大会概要について
 - 2) 主な出場選手等について
- [別紙資料] 取材のご案内

仙台国際ハーフマラソン大会 実行委員会

〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野2-11-6 弘進ゴムアスリートパーク仙台 (公財)仙台市スポーツ振興事業団 スポーツ事業課内

☎ 022-297-1322 FAX 022-297-1323 E-mail sendai_half@spf-sendai.jp

1) 大会概要について

仙台国際ハーフマラソン2023／大会概要

- 1 大会名 仙台国際ハーフマラソン2023
- 2 主催 仙台市、(公財)仙台市スポーツ振興事業団、(一財)宮城陸上競技協会、仙台市陸上競技協会、みやぎ障害者陸上競技協会、河北新報社、東北放送
- 3 後援 (公財)日本陸上競技連盟、(一社)日本パラ陸上競技連盟、宮城県、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、仙台市スポーツ協会、仙台市スポーツ推進委員協議会、仙台市学区民体育振興会連合会、NHK仙台放送局、仙台放送、ミヤギテレビ、khb 東日本放送、朝日新聞社仙台総局、毎日新聞社仙台支局、読売新聞東北総局、産経新聞仙台支局、日刊スポーツ新聞社東北総局 (以上予定)
- 4 主管 仙台国際ハーフマラソン大会実行委員会
- 5 協力 宮城県警察、仙台市交通指導隊、仙台市消防局、仙台市立病院、仙台医療センター、仙台市医師会、仙台市交通局、仙台市障害者スポーツ協会、宮城県障害者スポーツ協会、社会福祉法人仙台市障害者福祉協会、株式会社ジェー・シー・アイ、宮城県心筋梗塞対策協議会、特定非営利法人ALPEN、東北医科大学、東北福祉大学、東北文化学園大学、尚絅学院高等学校、聖和学園短期大学、宮城県仙台二華高等学校、仙台市立東華中学校、仙台市立長町中学校、仙台リゾート&スポーツ専門学校、東北文化学園専門学校、仙台医健・スポーツ専門学校、市民スポーツボランティアSV2004、日本運輸倉庫株式会社 仙台支店、仙台国際ホテル、スポーツコミッションせんだい株式会社テレコム 東北支店、仙台明走会、三友レッカー株式会社、信金中央金庫東北支店 (以上予定)
- 6 種目 ハーフマラソン(21.0975km)
- 7 開催日 2023年(令和5年)6月4日(日)
- 8 日程
- 6月2日(金)
・10:30～ 市長表敬(国際姉妹都市・友好・協定締結都市選手)／仙台市役所(予定)
 - 6月3日(土) 大会前日
・14:00～15:00 特別招待選手記者会見／ウェスティンホテル仙台
 - 6月4日(日) 大会当日
・7:00 開場(検温・手荷物預かり)／弘進ゴム アスリートパーク仙台 (以下「弘進パーク仙台」と記載)
・9:45 車いすの部 スタート／弘進パーク仙台 南側路上
・10:05 エリートの部、日本陸連登録者の部、一般の部 第1ウェーブスタート／弘進パーク仙台 南側路上
・10:10 一般の部 第2ウェーブスタート／弘進パーク仙台 南側路上
・12:40 競技終了
- 9 コース 弘進パーク仙台／南側路上(スタート)～<折返し>イオンスタイル仙台卸町前～<折返し>定禅寺通141ビル前～<折返し>二十人町いたがき本店前～弘進パーク仙台(フィニッシュ)
※ワールドアスレティックス(WA)、(公財)日本陸上競技連盟／公認コース
- 10 参加募集
- 1)優先出走権エントリー枠【2020(第30回)大会中止に伴う優先出走権対象者】
2023年(令和5年)1月11日(水)11:00～1月24日(火)まで *先着
 - 2)一般参加者追加エントリー枠【優先出走権エントリー枠で定員に達しない場合にのみ追加募集】
2023年(令和5年)2月8日(水)20:00～2月21日(火)まで *先着
- 【参考】救護ボランティアランナー
2022年(令和4年)12月12日(月)～2023年(令和5年)1月10日(火)まで *36名申込み
- 11 定員・参加料
- | 種目 | 定員 | 参加料 |
|-------------|--------|---------|
| 招待選手等 | 150名 | — |
| エリートの部 | 800名 | 10,000円 |
| 日本陸連登録競技者の部 | | |
| 一般の部 | 7,030名 | 9,000円 |
| 車いすの部 | 50名 | |
- 12 制限時間 2時間30分(※参加資格は2時間25分以内で完走できる方)
- 13 表彰 ※感染症対策を緩和し、表彰式を実施。
- 1) エリートの部・日本陸連登録競技者の部／総合
男女各1～8位に、賞状・記念品を授与。
表彰式では1～3位のみを表彰、4～8位の入賞者には賞状、記念品を後日送付。
 - 2) 一般の部
男女各総合1～8位に、賞状及び記念品を授与。
表彰式では1～3位のみを表彰、4～8位の入賞者には賞状、記念品を後日送付。
年代別(下記の5区分)は、男女各1～8位に、賞状・記念品を授与。
①18歳～29歳 ②30歳～39歳 ③40歳～49歳 ④50歳～59歳 ⑤60歳以上
※年代別の順位は「ネットタイム」により決定する。1～8位に賞状・記念品を後日送付。
 - 3) 車いすの部
男女各1～8位に、賞状および記念品を授与。
表彰式では1～3位のみを表彰、4～8位の入賞者には賞状、記念品を後日送付。
 - 4) 1歳刻み表彰
大会当日の年齢を対象に、各年齢の男女別1～10位を表彰。
※カテゴリー(エリート・陸連登録・一般)を問わず、ネットタイムで順位を決定し、対象者に賞状を後日送付。

14 申込み状況 (4月7日時点集計)

■エリート・の部・日本陸連登録競技者の部・一般の部

種 別		男	女	計
招待 関 係	国内特別	2	2	4
	国際姉妹・友好／協定締結都市	6	6	12
	実業団等	21	28	49
	大学	6	0	6
	東北陸上競技協会	6	4	10
	東北学生陸上競技連盟	0	1	1
	都市交流(久米島、神戸)	2	2	4
招待選手／合計		43	43	86
エリート・の部(実業団・大学等)		106	12	118
エリート・の部		4	4	8
日本陸連登録競技者の部		136	21	157
エリート・の部・日本陸連登録競技者の部／合計		246	37	283
一般の部		6,695	1,360	8,055
一般の部(ゲストランナー)		3	1	4
一般の部／合計		6,698	1,361	8,059
合 計		6,987	1,441	8,428

■車いすの部

種 別		男	女	計
国内特別		1	1	2
招 待		1	0	1
一 般		27	0	27
車いすの部／合計		29	1	30

【合 計】

種 別		男	女	計
ハーフマラソン／エリート・日本陸連登録競技者・一般		6,987	1,441	8,428
ハーフマラソン／車いす		29	1	30
合 計		7,016	1,442	8,458

【参加者データ分析】

- ①都道府県別／**全都道府県より参加**(2017年大会以来、7年ぶり)
 - ②宮城県の参加者／4,500名で全体の約53.20%(前回は約52.49%)
 - ③仙台市の参加者／3,350名で全体の約39.61%(前回は約37.93%)
 - ④県外で最も多い都道府県／東京都997名で全体の約11.79%(前回は約11.50%)
- ※参考: 神奈川県437名、福島県327名、埼玉県306名、千葉県264名、山形県261名

15 運営スタッフ

1)各関係団体

・宮城県警察	…	約	200	名
・交通指導隊	…	約	100	名
・陸上競技協会	…	約	250	名
・仙台市スポーツ推進委員協議会	…	約	280	名
・仙台市学区民体育振興会連合会	…	約	1,000	名
・仙台市	…	約	200	名
・仙台市スポーツ振興事業団	…	約	50	名
・医療スタッフ	…	約	85	名
・仙台市消防局	…	約	30	名
・交通警察員等	…	約	650	名
・その他(設営、計測業者等)	…	約	1,000	名

2)ボランティア(*4月10日現在)

・個人ボランティア申込状況/定員300名程度	…		326	名
・団体ボランティア申込状況/13団体	…		267	名
		約	4,438	名

16 救護ランナー

1) 救護サポートランナー 181名

(医師100名、看護師53名、准看護師4名、救急救命士24名)

2) 救護ボランティアランナー 36名

(医師8名、看護師8名、准看護師1名、救急救命士12名、救急課程修了者7名)

●救護サポートランナー

レースに出場しながら救護活動に協力

●救護ボランティアランナー

大会スタッフとしてユニホームを着用しコースを走りながら救護活動を行う



17 各種イベント

1) 谷川真理ランニングクリニック 2023年4月29日(土・祝) 弘進パーク仙台

ゲストランナーの谷川真理さんを講師にお迎えし、本大会参加者限定のランニングクリニックを開催。

①谷川真理ランニングクリニック 定員200名(9:30~11:00) 申込人数:151名

2) 仙台ハーフ ファミリーラン 2023年4月29日(土・祝) 弘進パーク仙台

仙台国際ハーフマラソンのサブ種目として、榴岡公園にて同日に開催していた「5kmの部・2kmの部」は、新たに「仙台ハーフファミリーラン」として、会場を従来の榴岡公園から弘進ゴム アスリートパーク仙台(仙台市陸上競技場)に変更し、本大会とは別日の4月29日(土・祝)に開催。

①2kmの部 定員250名(12:30スタート) 申込人数:161名

②2km親子ペアの部 定員125組(13:10スタート) 申込人数:186組(372名)

③5kmの部 定員500名(13:50スタート) 申込人数:282名

3) ランナー応援・沿道イベント 2023年6月4日(日)9:00~12:30(時間内で随時開催)

大会当日の賑わいづくりとランナー応援のため、コース沿道における消防音楽隊、プロスポーツチームチア等によるパフォーマンスやとっておきの音楽祭とコラボした演奏・仙台すずめ踊りの披露。

4) スマホでスタンプラリー-in社の都ハーフ 2023年6月3日(土)~6月5日(月)

域内消費に繋げるため、大会当日の仙台市陸上競技場ほか、市内飲食店やお土産店等でスタンプを3つ獲得後、景品に応募できるスタンプラリーイベントの開催。

2) 主な出場選手等について

1. 特別招待選手

[男子特別招待]

川内 優輝 KAWAUCHI Yuki

1987年3月5日生 (36歳)



男子マラソン日本代表として世界陸上に4度(2011年・大邱、2013年・モスクワ、2017年・ロンドン、2019年・ドーハ)出場。ワールドマラソンメジャーズの一つである2018ボストンマラソンにて、日本人として31年ぶりに優勝する等、輝かしい実績を持つ。2020防府読売マラソンでは前人未到のフルマラソン 2 時間 20 分以内記録(「サブ 20」)100 回を達成。2021びわ湖毎日マラソンでは2時間07分27秒で自己ベストを8年ぶりに更新。2022全日本実業団ハーフマラソンでは、1時間02分13秒で自己ベストを10年ぶりに更新するなど、年を重ねても、なお進化を続ける。今回、通算10回目の節目の出場となる杜の都での走りに期待。

自己最高記録

ハーフマラソン: 1時間02分13秒 (2022全日本実業団ハーフマラソン)
マラソン: 2時間07分27秒 (2021びわ湖毎日マラソン)

主な戦績

2023大阪マラソン/12位/2時間07分35秒
2021防府読売マラソン/3位/2時間10分11秒
2021びわ湖毎日マラソン/10位/2時間07分27秒
2018ボストンマラソン/1位/2時間15分58秒

1

[男子特別招待]

神野 大地 KAMINO Daichi

1993年9月13日生 (29歳)



青山学院大学3年生時の箱根駅伝往路5区で、区間新記録を樹立し「3代目山の神」として大学の総合優勝に大きく貢献。大学卒業後は実業団のユニコムに入社。2018年5月にプロ転向。自身初の日本代表として出場した2019アジアマラソン選手権では、ゴール手前まで激しいデットヒートを繰り広げる中、フィニッシュ手前で逆転し、2時間12分18秒のタイムでマラソン初優勝を果たすとともに、見事アジアチャンピオンに輝いた。2021防府読売マラソンでは、2時間09分34秒の好タイムで日本人トップとなり、2024パリ五輪マラソン代表選考会(MGC)の出場権を獲得。2023年3月に行われたアジアクロスカントリー選手権では、シニア男子10kmの部で銀メダルを獲得するなど好調を維持。今回3度目となる杜の都で、世界につながる走りに期待。

自己最高記録

5000m:13分56秒05(2018日本体育大学長距離記録会)
10000m:28分17秒54(2016ホクレンDC網走)
ハーフマラソン:1時間01分04秒(2017香川丸亀国際ハーフマラソン)
マラソン:2時間09分34秒(2021防府読売マラソン)

主な戦績

2023アジアクロスカントリー選手権(シニア男子10km)/2位/33分52秒
2021防府読売マラソン/2位/2時間09分34秒
2019アジアマラソン選手権/1位/2時間12分18秒

2

[女子特別招待]

一山 麻緒 ICHiyAMA Mao

1997年5月29日生 (26歳)



鹿児島県出身。出水中央高等学校卒業後に名門実業団チームに入部。入社1年目に出走した2016全日本実業団対抗女子駅伝の1区(7km)で21分50秒の区間新記録を樹立し、頭角を現す。初マラソンとなった2019東京マラソンで2時間24分33秒の好タイムで7位入賞。翌年の2020名古屋ウィメンズマラソンにて、2時間20分29秒の日本歴代5位(女子単独レース/アジア・日本最高)の好タイムでマラソン初優勝を果たし、見事に2020東京五輪への切符を手中に収める。新型コロナウイルスの影響で2021年に開催された東京五輪は、猛暑の中でのレースであったが、最後まで粘り強い走りを見せ、女子マラソンで日本人として17年ぶりとなる8位入賞を果たす。2021年12月に男子マラソンの日本記録保持者の鈴木健吾選手と結婚。夫婦揃っての2024パリ五輪への出場を目指す。今回初出場となる杜の都で、世界につながる走りに期待。

自己最高記録

5000m:15分06秒66 (2020ホクレンDC千歳)
10000m:31分11秒56 (2021日本陸上競技選手権大会)
ハーフマラソン:1時間08分28秒(2021札幌チャレンジハーフマラソン)
マラソン:2時間20分29秒(2020名古屋ウィメンズマラソン)*女子単独レース:アジア・日本最高

主な戦績

2022東京マラソン/6位(日本人1位)/2時間21分02秒
*鈴木健吾選手(2:05:28)+一山麻緒選手(2:21:02)は合計記録でギネス記録認定
2021東京オリンピック女子マラソン/8位/2時間30分13秒
2021大阪国際女子マラソン/1位/2時間21分11秒
2020名古屋ウィメンズマラソン/1位/2時間20分29秒

201

[女子特別招待]

森田 香織 MORITA Kaori

1995年9月19日生 (27歳)



神奈川県出身。荏田高時代は、都道府県対抗女子駅伝などで活躍。現所属では、2017年、2018年の全日本実業団対抗女子駅伝で2年連続1区(7km)区間賞を獲得し、チームのエースとして、進軍に貢献。2018香川丸亀国際ハーフマラソンでは、1時間10分10秒の好タイムで2位(日本人1位)となり、同年にスペイン・バレンシアで開催された世界ハーフマラソン選手権の日本代表となる。初マラソンとなった2022東京マラソンでは2時間27分38秒の好タイムで総合10位、日本人3位となり2024パリ五輪マラソン代表選考会(MGC)の出場権を獲得。2度目のマラソン出場となった2023東京マラソンでは、2時間26分31秒で自己記録を更新し9位(日本人3位)に入るなど好調を維持。今回2度目となる杜の都で、世界につながる走りに期待。

自己最高記録

5000m:15分21秒31 (2016日本体育大学長距離記録会)
10000m:31分57秒95 (2018日本実業団陸上競技連合女子長距離記録会)
ハーフマラソン:1時間10分10秒(2018香川丸亀国際ハーフマラソン)
マラソン:2時間26分31秒(2023東京マラソン)

主な戦績

2023東京マラソン/9位(日本人3位)/2時間26分31秒
2022東京マラソン/10位(日本人3位)/2時間27分38秒
2021全日本実業団ハーフマラソン/8位/1時間10分28秒

202

[車いす特別招待]

樋口 政幸 HIGUCHI Masayuki

1979年1月15日 (44歳)



新潟県十日町市出身。24歳の時にバイク事故で脊髄を損傷し、車いす生活となった。その翌年、リハビリ施設に入所している時に、先輩に誘われたことがきっかけで車いすマラソンと出会い、陸上競技を始めた。パラリンピックには2012年のロンドン大会より3大会連続で出場しており、2016年のリオデジャネイロパラリンピックでは5000mで4位入賞、1500mでは日本人初の決勝進出を果たし8位入賞。2021年の東京パラリンピックでも5000mで8位入賞している。仙台国際ハーフマラソンでは2010年、2013年、2014年、2015年、2017年、2018年の計6回優勝しており、今回も活躍が大いに期待される。

自己最高記録

マラソン:1時間22分02秒(2011オンシンゲンマラソン)

主な戦績

2021東京パラリンピック(5000m)/8位/10分31秒28
2019仙台国際ハーフマラソン/2位/47分39秒
2018仙台国際ハーフマラソン/1位/45分51秒
2016リオデジャネイロパラリンピック(5000m)/4位/11分02秒54 (1500m)/8位/3分02秒05

401

[車いす特別招待]

喜納 翼 KINA Tsubasa

1990年5月18日 (33歳)



沖縄県うるま市出身。学生時代はバスケットボール選手として日トトレーニングに明け暮れており、中学・高校生のときには沖縄県代表選手に選出された経験がある。大学の時に、トレーニング中の事故が原因で車いす生活に。スポーツからはしばらく離れていたが、大学卒業後、風を切って走る疾走感にひかれて車いす陸上を始める。車いすマラソンで有利な長い腕やハードな練習も音上げずやり切れる根気強さを武器に、2019年の大分国際車いすマラソンでは日本記録を樹立。2021年の東京パラリンピックにも出場し、今後も大いに活躍が期待される選手である。

自己最高記録

マラソン:1時間35分50秒(2019大分国際車いすマラソン)

主な戦績

2022東京マラソン/1位/1時間40分21秒
2021東京パラリンピック女子マラソン/7位/1時間42分33秒
2020東京マラソン/1位/1時間40分00秒 *大会新記録
2019大分国際車いすマラソン/2位/1時間35分50秒 *日本新記録

403

2. 実業団等招待選手

【男子】



ベナード・キメリ 21
BENARD Kimeli
富士通
2020 世界ハーフマラソン選手権
1位/59分42秒
2019 Sportsimo プラハハーフマラソン
1位/59分07秒



アモス・クルガト 22
AMOS Kurgat
中電工
2021 ADIZERO: ROAD TO RECORDS (ハーフ)
3位/59分34秒
2019 コペンハーゲンハーフマラソン
4位/59分37秒



西山 雄介 23
NISHIYAMA Yusuke
トヨタ自動車
2022 オレゴン世界陸上競技選手権
13位/2時間08分35秒
2022 別府大分毎日マラソン
1位/2時間07分47秒



岡本 直己 24
OKAMOTO Naoki
中国電力
2023 大阪ハーフマラソン
1時間02分44秒
2022 大阪ハーフマラソン
4位/1時間01分25秒



鎧坂 哲哉 25
YOROIZAKA Tetsuya
旭化成
2022 別府大分毎日マラソン
2位/2時間07分55秒
2020 香川丸亀国際ハーフマラソン
1時間01分57秒



小山 直城 26
KOYAMA Naoki
Honda
2023 東京マラソン
2時間08分12秒
2020 全日本実業団ハーフマラソン
1時間01分08秒



古賀 淳紫 27
KOGA Kiyoshi
安川電機
2023 全日本実業団ハーフマラソン
10位/1時間00分49秒
2022 別府大分毎日マラソン
4位/2時間08分30秒



湯澤 舜 28
YUZAWA Shun
SGホールディングス
2022 東京マラソン
8位/2時間07分31秒
2022 全日本実業団ハーフマラソン
1時間01分09秒



聞谷 賢人 29
KIKUTANI Kento
トヨタ紡織
2022 ベルリンマラソン
9位/2時間07分56秒
2021 びわ湖毎日マラソン
9位/2時間07分26秒



下田 裕太 30
SHIMODA Yuta
GMOインターネットグループ
2020 東京マラソン
2時間07分27秒
2020 香川丸亀国際ハーフマラソン
1時間01分52秒



小山 司 31
KOYAMA Tsukasa
SUBARU
2023 別府大分毎日マラソン
7位/2時間08分00秒



村本 一樹 32
MURAMOTO Kazuki
住友電工
2022 大阪ハーフマラソン
8位/1時間01分46秒
2021 びわ湖毎日マラソン
2時間07分36秒



久保 和馬 33
KUBO Kazuma
西鉄
2022 福岡国際マラソン
10位/2時間09分19秒
2022 東京マラソン
2時間08分48秒



小椋 裕介 34
OGURA Yusuke
ヤクルト
2022 上尾シティマラソン (ハーフ)
2位/1時間01分48秒



相馬 崇史 35
SOMA Takashi
大塚製薬
2023 延岡西日本マラソン
4位/2時間11分50秒
2022 大阪ハーフマラソン
1時間03分07秒



名取 燎太 36
NATORI Ryota
コニカミノルタ
2023 大阪ハーフマラソン
6位/1時間01分55秒



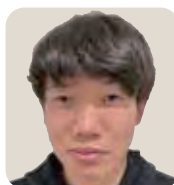
梶原 有高 37
KAJIWARA Aritaka
コモディイイダ
2022 大阪ハーフマラソン
10位/1時間01分48秒



熊橋 弘将 38
KUMAHASHI Hiromasa
山陽特殊製鋼
2023 東京マラソン
2時間11分24秒
2022 全日本実業団ハーフマラソン
1時間02分45秒



天野 誠也 39
AMANO Seiya
自衛隊体育学校
2022 平成国際大学長距離競技会(10000m)
28分35秒74
2020 日本陸上競技選手権(10000m)
28分08秒94



細谷 翔馬 40
HOSOYA Shoma
天童市役所
2022 東京マラソン
2時間09分18秒



厚浦 大地 41
ATSUURA Daichi
NDソフト
2020 東京箱根間往復大学駅伝予選会(ハーフ)
1時間03分12秒

【女子】



阿部 有香里 221
ABE Yukari
京セラ
2023 香川丸亀国際ハーフマラソン
9位/1時間12分15秒
2022 大阪国際女子マラソン
5位/2時間24分02秒



福良 郁美 222
FUKURA Ikumi
大塚製薬
2021 全日本実業団ハーフマラソン
5位/1時間10分21秒
2020 全日本実業団ハーフマラソン
5位/1時間09分58秒



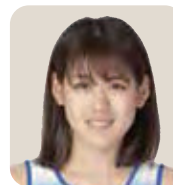
川内 理江 223
KAWAUCHI Rie
大塚製薬
2023 香川丸亀国際ハーフマラソン
1時間12分31秒
2022 大阪国際女子マラソン
7位/2時間25分35秒



池田 千晴 224
IKEDA Chiharu
日立
2023 大阪国際女子マラソン
7位/2時間25分59秒
2022 大阪ハーフマラソン
2位/1時間10分37秒



小井戸 涼 225
KOIDO Ryo
日立
2023 全日本実業団ハーフマラソン
8位/1時間11分22秒
2022 全日本実業団ハーフマラソン
9位/1時間10分20秒



中村 優希 226
NAKAMURA Yuki
パナソニック
2023 まつえレディースハーフマラソン
1位/1時間10分48秒



大西 ひかり 227
ONISHI Hikari
JP 日本郵政グループ
2022 ベルリンマラソン
2時間25分54秒
2021 全日本実業団ハーフマラソン
1時間11分48秒



吉藺 菜 228
YOSHIZONO Shiori
天満屋
2023 全日本実業団ハーフマラソン
2位/1時間10分48秒



飛田 凜香 229
HIDA Rinka
第一生命グループ
2023 大阪ハーフマラソン
1位/1時間10分10秒
2021 日本学生対校選手権(10000m)
2位/32分56秒71



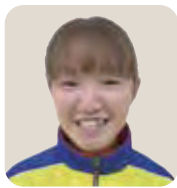
ナオミ・ムツォーニ 230
NAOMI Muthoni
ユニバーサルエンターテインメント
2021 日本体育大学長距離記録会(5000m)
1位/14分49秒94
2021 山陽女子ロードレース(10km)
2位/31分15秒



中尾 有梨沙 231
NAKAO Arisa
ユニバーサルエンターテインメント
2020 山陽女子ロードレース(ハーフ)
10位/1時間10分40秒



筒井 咲帆 232
TSUTSUI Sakiho
ヤマダホールディングス
2022 全日本実業団ハーフマラソン
4位/1時間09分54秒



星野 輝麗 233
HOSHINO Ruru
ヤマダホールディングス
2021 U20日本選手権(5000m)
5位/15分57秒19



堀江 美里 234
HORIE Misato
シスメックス
2022 山陽女子ロードレース(ハーフ)
1時間13分47秒
2022 大阪マラソン
1位/2時間32分10秒



キプケモイ・ジョアン 235
KIPKEMOI Joan
九電工
2020 山陽女子ロードレース(ハーフ)
2位/1時間09分28秒
2020 ホクレンDC綱走(5000m)
3位/15分04秒32



花房 百伽 236
HANAFUSA Momoka
九電工
2023 全日本実業団ハーフマラソン
1時間14分34秒
2022 エディオンDC
16分04秒98



中野 円花 237
NAKANO Madoka
岩谷産業
2022 日本陸上競技選手権(10000m)
5位/32分13秒01秒
2021 山陽女子ロードレース(ハーフ)
1時間11分18秒



青木 奈波 238
AOKI Nanami
岩谷産業
2023 大阪マラソン
8位/2時間30分01秒



清水 萌 239
SHIMIZU Moe
三井住友海上
2023 全日本実業団ハーフマラソン
1時間13分32秒
2022 全日本実業団ハーフマラソン(10km)
1位/33分28秒



柴田 佑希 240
SHIBATA Yuki
ダイハツ
2023 大阪ハーフマラソン
1時間14分59秒



村尾 綾香 241
MURAO Ayaka
ダイハツ
2022 山陽女子ロードレース(ハーフ)
1時間13分15秒



大塚 英梨子 242
OTSUKA Eriko
キヤノン
2023 大阪国際女子マラソン
2時間38分51秒
2021 山陽女子ロードレース(ハーフ)
1時間12分44秒



山下 真央 243
YAMASHITA Manaka
キヤノン
2023 北九州マラソン
1位/2時間48分26秒
2022 山陽女子ロードレース(ハーフ)
1時間19分00秒



三宅 翔子 244
MIYAKE Shoko
十八親和銀行
2023 青梅マラソン(30km)
4位/1時間48分40秒
2022 仙台国際ハーフマラソン
1時間15分55秒



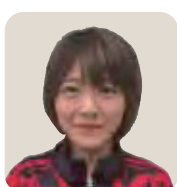
古本 紗彩 245
FURUMOTO Saaya
十八親和銀行
2023 全日本実業団ハーフマラソン
1時間17分26秒
2022 ゴールディングゲームズinのべおか(5000m)
16分28秒55



庄司 琴美 246
SHOJI Kotomi
愛知電機
2023 まつえレディースハーフマラソン
1時間15分46秒



斎藤 凜 247
SAITO Rin
愛知電機
2020 東北学生対校選手権(5000m)
1位/16分32秒23



西澤 果穂 248
NISHIZAWA Kaho
コモディイイダ
2023 山陽女子ロードレース(ハーフ)
1時間17分50秒

【車いす】



副島 正純 402
SOEJIMA Masazumi
ソシオ SOEJIMA
2019 第31回全国車いすマラソン
1位/1時間26分39秒
2018 仙台国際ハーフマラソン
2位/47分25秒

3. 大学招待選手 【男子】

51	赤星 雄斗 AKAHOSHI Yuto 2022上尾シティハーフマラソン/5位/1時間02分00秒	駒澤大学
52	金子 伊吹 KANEKO Ibuki 2023奥球産ロードレース (ハーフ) /10位/1時間04分08秒	駒澤大学
53	西山 哲平 NISHIYAMA Teppei 2022上尾シティハーフマラソン/1時間03分32秒	國學院大学

54	鎌田 匠馬 KAMADA Shoma 2021東海大学長距離競技会 (5000m) /14分13秒97	國學院大学
55	太田 蒼生 OTA Aoi 2021MARCH対抗戦 (10000m) /28分32秒17	青山学院大学
56	若林 宏樹 WAKABAYASHI Hiroki 2023香川丸亀国際ハーフマラソン/10位/1時間01分25秒	青山学院大学

4. 東北陸上競技協会招待選手 【男子】

61	小笠原 太一 OGASAWARA Taichi 2022函館マラソン(ハーフ)/1時間08分25秒	青森陸上競技協会
62	杉山 里空 SUGIYAMA Riku 2022一関国際ハーフマラソン/1時間10分28秒	TEAM アテルイ
63	土井 健太郎 DOI Kentaro 2023立川シティハーフマラソン/1時間06分05秒	秋田陸上競技協会
64	荒生 実慧 ARAO Masato 2022平成国際大学長距離競技会(10000m)/28分50秒40	酒田市陸協
65	石井 智大 ISHII Chihiro 2022東北総合体育大会(1500m)/3位/3分55秒24	かがみいスポーツクラブ
66	大澤 太一 OSAWA Taichi 2022宮城県選手権(10000m)/1位/32分01分97	TEAM みちのく

【女子】

251	杉山 比菜 SUGIYAMA Hina 2022一関国際ハーフマラソン/年代別2位/1時間22分26秒	Try Again RC
252	本間 未来 HOMMA Mirai 2023ハイテクハーフマラソン/2位/1時間16分53秒	北村山地区陸協
253	鈴木 絵里 SUZUKI Eri 2023東京マラソン/2時間41分59秒	秋田陸上競技協会
254	佐藤 裕美 SATO Yumi 2022仙台国際ハーフマラソン/1時間27分50秒	宮城陸上競技協会

5. 都市間交流招待選手 【男子】

71	新井 健太 ARAI Kenta 2023別府大分毎日マラソン/2時間56分01秒	笑走
72	皆越 晃 MINAKOSHI Akira 2021びわ湖毎日マラソン/2時間21分45秒	T&F.net KOBE

【女子】

271	安里 真梨子 ASATO Mariko 2022久米島マラソン(ハーフ)/1位/1時間24分48秒	らんさぼ
272	見嶋 真紀子 MISHIMA Makiko 2023大阪国際女子マラソン/2時間50分28秒	サウルスジャパン

6. 東北学生陸上競技連盟招待選手 【女子】

261	伊藤 千尋 ITO Chihiro 2022山陽女子ロードレース (ハーフ) /1時間23分19秒	石巻専修大学
------------	---	--------

7. その他 有力選手 【男子】

No.	氏名	所属団体名	主な記録
81	大石 港与	トヨタ自動車	2023香川丸亀国際ハーフマラソン/1時間01分15秒
82	田中 秀幸	トヨタ自動車	2019全日本実業団ハーフマラソン/5位/1時間01分33秒
83	丸山 竜也	トヨタ自動車	2022ベルリンマラソン/8位/2時間07分50秒
84	野中 優志	トヨタ自動車	2022全日本実業団ハーフマラソン/1時間00分48秒
85	畔上 和弥	トヨタ自動車	2023大阪マラソン/2時間08分29秒
86	西田 壮志	トヨタ自動車	2022仙台国際ハーフマラソン/6位/1時間02分52秒
87	上村 和生	大塚製薬	2020全日本実業団ハーフマラソン/1時間01分51秒
88	上門 大祐	大塚製薬	2020東京マラソン/9位/2時間06分54秒
89	田口 雅也	Honda	2022東京マラソン/2時間09分27秒
90	松村 優樹	Honda	2021びわ湖毎日マラソン/2時間09分01秒
91	木村 慎	Honda	2020東京マラソン/11位/2時間07分20秒
92	足羽 純実	Honda	2021びわ湖毎日マラソン/2時間07分54秒
93	原 法利	Honda	2020全日本実業団ハーフマラソン/1時間01分03秒
94	中山 顕	Honda	2022全日本実業団ハーフマラソン/2位/1時間00分38秒
95	高宮 祐樹	ヤクルト	2019仙台国際ハーフマラソン/1時間05分52秒
96	武田 凜太郎	ヤクルト	2023香川丸亀ハーフマラソン/1時間02分01秒
97	鎌田 航生	ヤクルト	2023全日本実業団ハーフマラソン/1時間01分44秒

No.	氏名	所属団体名	主な記録
98	熊谷 拓馬	住友電工	2021福岡国際マラソン/10位/2時間10分41秒
99	中村 祐紀	住友電工	2022防府読売マラソン/1位/2時間08分29秒
100	ライモイ・ビンセント	スズキ	2022福岡国際マラソン/2位/2時間07分01秒
101	山口 武	スズキ	2023大阪マラソン/2時間07分58秒
102	河合 代二	トーエネック	2022東京マラソン/2時間08分31秒
103	小山 裕太	トーエネック	2023大阪マラソン/2時間07分57秒
104	マル・イマニエル	トヨタ紡織	2022ぎふ清流ハーフマラソン/3位/59分58秒
105	河村 知樹	トヨタ紡織	2022ぎふ清流ハーフマラソン/1時間02分47秒
106	チャールズ・マカウ	NTN	2023大阪マラソン/4位/2時間06分37秒
107	齋田 直輝	NTN	2023大阪マラソン/2時間12分07秒
108	辻野 恭哉	NTN	2023大阪マラソン/2時間09分39秒
109	岐下 拓斗	NTN	2022全日本実業団ハーフマラソン/1時間02分21秒
110	小森 稜太	NTN	2021びわ湖毎日マラソン/2時間10分33秒
111	小松 巧弥	NTT西日本	2020全日本実業団ハーフマラソン/1時間01分43秒
112	パトリック・ワンブィ	NTT西日本	2021全日本実業団ハーフマラソン/1位/1時間00分12秒
113	口町 亮	SUBARU	2022大阪ハーフマラソン/9位/1時間01分46秒
114	ポール・クイラ	JR東日本	2022一関国際ハーフマラソン/1位/1時間02分12秒
115	黒川 翔矢	JR東日本	2020全日本実業団ハーフマラソン/1時間02分55秒
116	片西 景	JR東日本	2021びわ湖毎日マラソン/2時間09分27秒
117	曾根 雅文	JR東日本	2020東京箱根間往復大学駅伝予選会/1時間02分51秒
118	兼実 省伍	中国電力	2022別府大分毎日マラソン/9位/2時間10分02秒
119	住吉 秀昭	九電工	2021全日本実業団ハーフマラソン/1時間03分40秒
120	窪田 忍	九電工	2020八王子ロングディスタンス(10000m)/27分55秒07
121	橋爪 孝安	SGホールディングス	2022全日本実業団ハーフマラソン/1時間01分27秒
122	川端 千都	SGホールディングス	2023大阪ハーフマラソン/1時間03分59秒
123	山下 侑哉	サンバルクス	2020全日本実業団ハーフマラソン/1時間02分42秒
124	菊地 海斗	サンバルクス	2022仙台国際ハーフマラソン/1時間04分53秒
125	高木 登志夫	サンバルクス	2020青梅マラソン(30km)/9位/1時間33分42秒
126	住田 優範	愛知製鋼	2023全日本実業団ハーフマラソン/1時間01分19秒
127	ジョセフ・カラランジャ	愛知製鋼	2023全日本実業団ハーフマラソン/1位/1時間00分25秒
128	中井 慎吾	セキノ興産	2020平成国際大学長距離競技会(10000m)/29分36秒73
129	熊代 拓也	山陽特殊製鋼	2022大阪ハーフマラソン/1時間03分03秒
130	ワンブア・タイタス	埼玉医科大学グループ	2018東京箱根間往復大学駅伝予選会(ハーフ)/1時間03分23秒
131	設楽 啓太	ロジスティード	2020東京マラソン/2時間12分13秒
132	小町 昌矢	ロジスティード	2022大阪マラソン/2時間15分26秒
133	稲田 翔威	コモディイダ	2023全日本実業団ハーフマラソン/1時間02分19秒
134	坪井 響己	新電元工業	2022上尾シティハーフマラソン/6位/1時間03分18秒
135	中村 風馬	富士通	2022ベルリンマラソン/2時間15分43秒
136	蜂須賀 源	コニカミノルタ	2021全日本実業団ハーフマラソン/1時間31分00秒

【女子】

No.	氏名	所属団体名	主な記録
281	和久 夢来	ユニバーサルエンターテインメント	2023名古屋ウィメンズマラソン/7位/2時間25分58秒
282	山崎 夢乃	ユニバーサルエンターテインメント	2023香川丸亀国際ハーフマラソン/1時間12分46秒
283	青山 瑠衣	ユニバーサルエンターテインメント	2019山陽女子ロードレース(ハーフ)/5位/1時間10分04秒
284	西原 加純	シスメックス	2022山陽女子ロードレース(ハーフ)/1時間15分11秒
285	加藤 詩帆加	ヤマダホールディングス	2022日本体育大学長距離競技会(5000m)/16分40秒80
286	小指 有未	ヤマダホールディングス	2022日本体育大学長距離競技会(5000m)/16分58秒65
287	水口 瞳	ユニクロ	2020山陽女子ロードレース/1時間10分41秒
288	尾形 星華	ユニクロ	2022全日本実業団ハーフマラソン/1時間12分02秒
289	平島 美来	ユニクロ	2023大阪マラソン/9位/2時間30分49秒
290	野崎 光	九電工	2023大阪ハーフマラソン/1時間17分42秒
291	藤川 遥	キャンソ	2023玉名ハーフマラソン(10km)/35分50秒

8. スペシャルアンバサダー， ゲストランナー

SPECIAL AMBASSADOR

スペシャルアンバサダー

2012年大会よりご協力いただいている高橋尚子さん（シドニーオリンピック女子マラソン金メダリスト）に、今大会もスペシャルアンバサダーに就任していただきました。

レース当日6月4日（日）のスタート・フィニッシュ会場及びコース内でのランナーの皆様への応援に加え、大会の運営等に関して各種アドバイスをいただくなど、大会全般に渡りご協力をいただきます。

PROFILE

岐阜県出身

中学から本格的に陸上競技を始め、県立岐阜商業高校、大阪学院大学を経て実業団へ。1998年名古屋国際女子マラソンで初優勝、以来マラソン6連勝。2000年シドニー五輪金メダルを獲得し、同年国民栄誉賞受賞。2001年ベルリンでは女性として初めて2時間20分を切る世界記録(当時)を樹立する。2008年10月現役引退を発表。

- 公益財団法人日本陸上競技連盟 常務理事
- 公益財団法人日本オリンピック委員会 理事
- 一般社団法人バラスポーツ推進ネットワーク理事長
- その他 「高橋尚子のスマイル アフリカ プロジェクト」や環境活動、TBSスポーツキャスター、JICAオフィシャルサポーター、中日新聞社本社客員などで活躍中。



高橋 尚子

TAKAHASHI Naoko

高橋尚子さんからのメッセージ

皆さん、こんにちは、大会アンバサダーの高橋尚子です。

2023年の仙台国際ハーフマラソンは、国際会議が開催されることから通常より約3週間遅れの6月4日の開催となりました。5月と6月では、平均気温で3度以上、湿度もかなり上がるようです。コンディションの変化は走りにも影響があります。参加される皆さんには、走る前からこまめに水分補給をして、脱水症にならないよう十分気をつけて万全の体調でレースに臨み、そしてレース中も給水を飲んだり体にかけたりして、笑顔でゴールまで駆け抜けて頂きたいと思います。

季節は変われど、いつも素敵な仙台の街。今年も杜の都でランナーの皆さんと触れ合うことがとても楽しみです。地元の方々、沿道の応援の皆さん、ボランティア、スタッフの皆さん、共に6月4日日曜日を熱く盛り上げていきましょう！

GUEST RUNNER

ゲストランナー

PROFILE

福岡県出身

高校時代、陸上部の中距離選手として関東大会に2回出場したものの高校卒業と同時に陸上も卒業。卒業後は専門学校に進み、大手町でOL生活を送っていたが、昼休みに会社の同僚と皇居を訪れた際、ジョギングを楽しんでいる人がたくさんいることに感動し、翌日から皇居を走り始める。その後、1991年東京国際女子マラソンや1994年パリマラソンなどで優勝するなど輝かしい成績を残している。1992年には『東京都民文化栄誉賞』『朝日スポーツ賞』を受賞。2009年には『外務大臣表彰』を受賞。

- 公益財団法人ブルーシー & グリーンランド財団評議員
- 東京都公園協会 理事
- NPO法人[AAR JAPAN] 理事
- 一般財団法人アールビーズスポーツ財団 評議員
- 一般社団法人明大アスレチックマネジメント 理事



谷川 真理

TANIGAWA Mari

谷川真理さんからのメッセージ

仙台国際ハーフマラソンに出場されるみなさん、こんにちは！大会ゲストランナーの谷川真理です。

今回も高橋尚子さん、そして出場されるみなさんとともに大好きな街[仙台]を、満喫させていただきます。今回も気合い入ってますよ～笑が、しかし！無理は禁物ですよ。

仙台の街を笑顔で一緒に駆け抜けましょう！